

自閉スペクトラム症を持つ児の保護者の 養育態度と困難感

発達環境医学分野 金森 啓太

【はじめに】

健全な親子関係や適切な保護者の養育態度は、乳児の身体的、認知的、社会的な発達を育むために重要である[1*]。

一方で、自閉症スペクトラム障害 (ASD) を持つ児の保護者は、より多くの育児に対するストレスや困難を経験し[2, 3*]、保護者の養育態度に影響を与える。そのため、適切な養育態度を保つことが困難となることが多い。



【研究目標】

ASDを持つ児の保護者が取りやすい養育態度と抱える困難感を明らかにする。

【調査項目】

アウトカム: 養育態度 (3.5歳時)

養育態度に関する16の質問項目に対して、

1. ぜんぜんあてはまらない
2. あまりあてはまらない
3. だいたいあてはまる
4. ぴったりあてはまる

の選択肢から保護者が回答。

説明変数: 3歳時点でのASDの診断の有無

<その他の調査項目>

習い事、集団保育、スクリーンタイム、外で遊ぶ時間、家族構成、両親の学歴、母の神経発達症、世帯収入、母の職業

【結果: 養育態度に関する質問項目と不適切な態度を取る割合 (n = 82,411)】

養育態度とASDの発症率 (4歳)	ASD (n=372)	Non-ASD (n=82,039)	p値
1. 子どもが一人で遊んでいて、退屈そうだなと思った時、加わって一緒に遊ぶ。	82 (24.1%)	14,620 (19.0%)	0.418
2. どこかに出かけて、子どもが疲れていると感じた時、休んだり、子どもを抱っこする。	12 (3.5%)	2,700 (3.5%)	0.775
3. 子どもを抱きしめたり、やさしい言葉をかけて愛情を示している。	14 (4.1%)	2,399 (3.1%)	0.139
4. 子どもがイライラしていると思った時、「どうしたの」と聞いてみる。	24 (7.0%)	3,505 (4.5%)	0.031
5. あなたが忙しい時、子どもが遊びたがっていても、子どもと遊ぶのを後回しにしてしまう。	242 (71.2%)	59,393 (77.1%)	0.080
6. 子どもが間違っただけの行動をした時、どうしてその行動をしたのか理由を聞き、どうしたらよかったのかを話し合う。	158 (47.6%)	12,006 (15.6%)	< 0.001
7. あなたが家にいる時、ボール遊びやゲームなど、子どもと一緒に過ごす時間を持っている。	72 (21.1%)	15,087 (19.6%)	0.322
8. 家族で遊びに行く時、親の都合だけでなく、できる限り子どもの行きたいところを取り入れる。	46 (13.5%)	6,211 (8.0%)	0.020
9. 買い物に行って玩具を買う予定が無い時に、子どもが玩具を欲しいと言って売り場から動かなくても、玩具は買わない。	121 (35.6%)	16,150 (21.0%)	< 0.001
10. 子どもが自分のやっていることがうまくいかず騒いでいる時、静かにさせる。	110 (32.5%)	15,428 (20.1%)	< 0.001
11. 子どもが自分のやるべきことをやらない時、「やりなさい」と言う。	96 (28.3%)	6,511 (8.4%)	< 0.001
12. 子どもが友達と遊んでいて、友達が使っている玩具を無理やり取ってしまった時、それを返させる。	30 (8.8%)	3,694 (4.8%)	0.006
13. 子どもが寝る時間になっても、遊んでいて寝ない時、そのままにしておく。	76 (22.3%)	8,184 (10.7%)	< 0.001
14. 子どもがあなたに対して悪い言葉遣い(「バカ」、「アホ」など)をしたとしても気にしない。	29 (8.8%)	4,296 (5.6%)	0.004
15. 図書館や映画館など静かにしなければならない場所では、子どもを静かにさせる。	35 (10.5%)	1,654 (2.2%)	< 0.001
16. 子どもがあなたと決めた約束を守らない時、その約束をもう一度教える。	36 (10.8%)	1,480 (2.0%)	< 0.001

p値は重回帰分析の結果

【参考文献】*

1. Early Interaction and Developmental Psychopathology: Volume I: Infancy. Springer International Publishing; 2019
2. J Autism Dev Disord. 2018;48:3393-3415
3. J Autism Dev Disord. 2013;43:629-642

【メッセージ】

- ・児に愛情を示し、児を尊重するという点においてはASDの有無で大きな差はなかった。
- ・一方、ASDの児を持つ保護者は、社会の規律を教えることに関して大きな困難に直面することが明らかとなった。
- ・そのような困難感を改善するために、ペアレントトレーニングや地域・社会が多様性を受け入れた支援環境を形成することが重要。